

## ●平成25年度大豆300A実証ほの成績報告

平成25年度の大豆300A実証ほの成績データが届きました。

今年度は残念ながらいずれの区においても300Aを達成することが出来ませんでした。

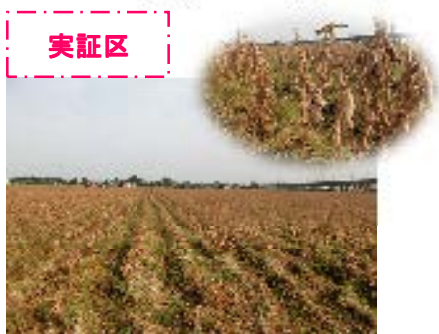
今年大豆栽培は、播種後の少雨・乾燥、中耕培土時における長雨・・・と多くの方々为天候の影響を大きく受けたことと思います。下表の通り、反収あたり実証区141kg、対照区172kgと残念な結果となりました。実証区、農薬資材実証区、肥料実証区においては、第2回現地研修会で生憎の雨となり、中耕培土作業が7月中旬過ぎと大幅に遅れ、生育にも大きな影響が出てきてしまいました。

対して、対照区、土づくり実証区は適期に中耕培土作業が出来たことで、下表の結果に繋がったと思います。

異常気象が年々顕著になっていくことは、農作業に従事する方々にとっては大変深刻な問題であります。このような異常気象の中でも、様々な対応策でこれからも300A達成と大豆の安定多収に向け奮闘していきたいと思っております。皆様のご理解・ご協力何卒宜しくお願い致します。



	実収(kg/10a)
実証区	141
対照区	172
土づくり実証区	193
農薬資材実証区	91
肥料実証区	108



収穫直前大豆の様子(平成25年10月15日)

## ●新潟市北区太夫浜での“小麦栽培”

今年、「新潟小麦の会」の協力により小麦の品質向上と多収生産技術による小麦の安定供給を目指した機械化栽培体系の実証圃を新潟市北区太夫浜に設けることが出来ました。

栽培管理に関しては各関係機関と連携を取り、ご指導・ご助言を頂いております。

昨年10月4日に播種をし、越冬前2回の土入れ・麦踏み作業を行い、順調に生育しております。

圃場の場所は、新潟から向かった場合、競馬場インターを降り、左折。しばらく直進して左手にあります。青々とした小麦がすぐに目に入ってくるので分かり易いかと思います。近くに来た際は、是非一度足を運んでみて下さい。

### ネオベスト散布 10月3日

車速連動装置付  
ブロードキャスターにて散布



### 播種作業 10月4日



播種の実演会では、予想を大きく上回る約40名の方々からご参加して頂きました。大変ありがとうございました！



### 土入れ(1回目) 11月6日



～土入れによるメリット～

- ①畝間の溝を深く掘ることができ、排水性を良くする効果があります。
- ②株元に土が入る為、倒伏防止効果が見込まれます。

### 麦踏み(1回目) 11月6日



手作りのローラーで麦踏み作業を行いました。

麦が傷つくことで、分けつが発生を促進し、徒長気味の生育を抑制し、耐寒性を増す効果があるとされています。

新潟県ですと、積雪量が多いと雪腐れ病の被害が増える可能性が心配される様です。

●**先行告知！平成26年度 新潟クボタ大豆実証圃(計画中)**

2/7総括検討会  
において発表



深層施肥  
+  
耕耘同時畝立播種

播種位置より  
約20cm下層に  
肥料が落ち、  
追肥が省略出来ます！

深層施肥  
+  
狭畦摘芯栽培



簡易土づくり(パラソイラー)  
+  
深層施肥+耕耘同時畝立播種



県内初となるGLOBEシリーズの圃場実演会を、  
下記日程で開催致します。



日時：平成26年**2月14日**(金)  
10:00~16:00  
平成26年**2月15日**(土)  
10:00~14:00 (予定)  
会場：新潟市西区赤塚



この他にも、**枝豆・ネギ・里芋・玉ねぎ等々の野菜関連機械を多数展示・実演**致します。  
詳細は2月7日(金)に開催される平成25年度大豆300A総括 & 野菜作推進検討会にて発表致します。

●**上越地区における1年間の枝豆作業の振り返り**

今年、上越地区においてJAえちご上越様と一緒に枝豆作りの取り組みをさせて頂きました。  
移植、収穫のお手伝いだけでなく、土づくりからさせて頂きました。  
年間を通して行いましたので、土づくりから収穫までを振り返ってみたいと思います。



●**かんしょ収穫実演会を開催致しました。**

昨年も、10月2日に第2回目となるかんしょ収穫実演会を開催致しました。  
秋作業終盤のお忙しい中にご参加頂きました皆様、大変ありがとうございました。  
来年も様々な企画を計画しております。  
興味のある方は、是非ご参加下さい。



今年も美味しい  
さつまいもが  
出来ました。